

鶴澤 寛治 (七代)

昭和3年9月27日生まれ。 人形浄瑠璃文楽座・三味線
昭和18年4月父の三代鶴澤寛治郎（後の六代鶴澤寛治）を師匠として鶴澤寛子を名のり、同年10月四ツ橋・文楽座にて初舞台。
昭和19年1月鶴澤寛弘と改名。
昭和31年1月道頓堀・文楽座にて八代竹澤団六を襲名。
平成6年4月三味線弾きとしての最高格である「三味線格」になり、平成9年6月には重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される。
平成13年1月七代鶴澤寛治を襲名。

昭和50年 昭和49年度因協会賞
昭和52年 国立劇場奨励賞
昭和55年 昭和54年度因協会奨励賞
平成元年 昭和63年度因協会賞
平成3年 大阪府知事表彰
平成6年 大阪文化祭賞
第13回（平成5年）国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成11年 勲四等旭日小綬章
平成14年 大阪芸術賞 他